

宣言草案

提案本部

資本主義の必然的結果としての経済的破綻に依る恐慌は、今や全無産階級の生活を極度の不安に陥し入れ、貸下截首労働強化失業等々の風は、容赦なく荒れ狂ふて居る。

労働組合も強烈なる資本の攻勢とファッショの風に直面して、正に受難の道をたどりつゝある。

我が東京交通労働組合は、昨年度に於ける市電更生案の名に於て強行せる市電當局の弾壓、並にスピードアップ、中間ボギ一車運轉に依る労働強化等、不當なる壓迫を蒙り、それ等の解決不利の結果に依つて來る組合内部の動搖、組織の弛緩、反動ファッショ分子の意識的裏切り等幾多の難局に當面せるも、吾等労働者の牢固として抜く可からざる階級的意識と、大同團結への欲求とは、よく此の難局を突破し、今日の意義ある大會を開催せしむるに至つたのである。

我等が過去の戦跡を顧み、更に將來の戦野を望む時、我等は我等の生活の牙城たる組合組織の充實、組合財政の確立、闘争合理化への訓練獲得、極左的、小兒病理論の糾對廢除を以つて、城址集の任務とし、一路組合發展の爲めに専心する事が正當なりと信ず。

我等は我が組合の發展と共に、廣く交通産業の分野に戦ひつゝある同志僚友と相協力し、交通總聯盟の實質的合理的なる大結成に向つて邁進しなければならぬ。

今や我等は内外共に狂暴なる資本の攻勢とファッショの風の中に、敢然と立つて、我等の正當剛直なる歩武の前の總ての障害を粉碎し、あらゆる困難と壓迫に抗して、光輝ある東交の旗の下に一系亂れず勇往前進しなければならぬ。

右宣言す。

一九三三、十二月四日

東京交通労働組合年度大會